

# 教育体験 in 芸北

平成 24 年 7 月 31 日～8 月 2 日の 3 日間、県立広島大学国際文化学科の学生 4 人が広島県立加計高等学校芸北分校のサマーセミナーで講師を務めました。

このセミナーは、北広島町と周辺の高校生・中学生が集まり、仲間づくりや学力向上、地域の担い手としての意識向上などを目的として行われるもので、本学は高大連携の取組の一環として平成 21 年度から学生を派遣しています。

今年度は、芸北分校のほか、広島県立加計高等学校、広島県立千代田高等学校、北広島町立芸北中学校から 107 人の生徒が集まりました。

本学からは教職志望の 4 年生が参加して国語・社会・英語の授業を担当したほか、講話、進路・学習指導などを行い、地域活性化座談会にも参加しました。

以下、学生たちの感想の一部を紹介します。



- 私たちは生徒に教科を教えましたが、芸北のこと、神楽のこと、生徒たちのふるまいや思いから、私たちも多くのことを学びました。芸北の大自然にも感動しました。生徒どうしの交流を、地域を超えてもっと行えるようになればいいと思います。
- 中学 3 年生対象の講話で、私の方から芸北のことを質問したり、芸北の印象を伝えたりしたところ、生徒たちが喜んでくれて、盛り上がりました。生徒たちが主体的になれること、考えさせること、発見させることが大切なのだと気づきました。
- 第 3 日目の「地域活性化に向けた座談会」では、生徒たちの芸北愛を感じました。過疎化という現実を自分たちなりに受けとめ、芸北を盛り上げたいという気持ちをみんなが持っているのはすばらしいと感じました。
- 生徒たちが一生懸命、授業を受ける姿勢や部活動に励む姿を見て、芸北分校の教育環境の良さをあらためて感じました。